

令和3年度 さいたま市立桜山中学校 自己評価書

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

【学校運営の重点】本年度の研究主題「主体的に適切な進路選択ができる生徒の育成」をテーマに、生徒一人ひとりが将来の夢や目標を明確にもち、社会人として必要な資質、能力を身に付けるために、主体的に学ぶ力の育成を実践した。

(1) 主体的に適切な進路選択ができる生徒の育成の実践 ※「○」は学校評価の項目

- 「学校では、将来の進路や職業等について考える機会がある」肯定的な回答 生徒97% 保護者88% 教員100%
- ・本年度は市の委嘱を受け、キャリア教育について研究を推進してきた。全教科において、キャリア教育の視点をもった授業を展開し、一つの教科だけではなく横断的に他の教科と関連付けて学習を進めてきた。
- ・潤いの時間では人とのコミュニケーション力を高めることに視点をおき、より良い人間関係作りの構想を図ることで、社会人としての資質・能力を身に付ける事に繋げることができた。
- ・特に、GSかの授業においては、ALTやT2の教員が積極的に関わり、コミュニケーション力を高める指導内容を工夫してきた。一人一台のタブレットを活用し、個の課題に応じた学習内容を生徒自ら考える時間を組み込み、ALTやT2の教員が 生徒への支援を行いながら、課題解決に繋げることができた。

(2) 基礎的・基本的な内容の徹底を図る学習指導の実践

- ・昨年度より本格実施の「小・中一貫コミュニティ・スクール」のテーマの一つでもある「基礎学力の向上」については、保護者、地域の方々も課題として捉えられている項目であり、年度当初より全教職員が常に意識をして取り組んできた。その一環として、互いの授業を見合う時間を設け、評価シートを活用して授業力の向上に努めた。
- ・ICTを活用し、見やすく、分りやすい資料提供や、タブレットを有効に利用し課題解決につなげる等、授業力向上に努めてきた。
- 「授業では熱心に学習に取り組んでいる」肯定的な回答 生徒91%に対し、教員は肯定的な答え87%と差はあるものの、昨年よりその差は小さくなったが、引き続き、宿題や課題の提示の工夫、保護者への協力要請等を粘り強く実践し、基礎学力の向上を図る。

(3) 豊かな感性や人間性を育む教育の推進

- 「全教育活動の中で思いやりのある心や生命を尊重する心を育てようとしている」肯定的な回答 生徒94% 保護者96% 教員92%
- 「いじめや差別のない学校づくりに取り組んでいる」肯定的な回答 生徒93% 保護者91% 教員92%
- ・本年度も、全職員が全教育活動において「生徒に寄り添い生徒とともに成長する」を常に意識して指導してきた。また、コミュニティ・スクールの二つ目のテーマとして「豊かななかかわりの充実」を掲げ取り組んできた。地域の声の代表として学校運営協議会を機能させ、地域との連携を常に意識し、豊かな感性や人間性を育む教育の推進を図る。
- ・肯定的な回答を多くいただけてはいるが、小規模校の良さを生かし、きめ細やかな「個々」への対応を丁寧に、粘り強く実践していく。

(3) 組織的な生徒指導、教育相談の充実

- 「生徒の悩みや相談に応じる体制ができています」肯定的な回答 生徒94% 保護者95% 教員100%
- ・定期的な生徒指導委員会、教育相談委員会の充実と、情報共有の充実を常に全教職員で意識し、実践してきた。また、さわやか相談室、SC、SSW等との連携を密にし、早期発見、早期対応を実践してきた。特に緊急度の高い生徒への対応については、教育委員会の指導を受けながら適切な対応を心がけ実践してきた。次年度もこの経験を活かし、組織的な指導の充実を図る。
- ・学校独自のいじめについてのアンケートを次年度も実施し、早期発見、早期対応に繋げていく。

(4) 開かれた学校づくりの推進

○「教育目標や教育方針を学校だよりや日々の指導を通して分りやすく伝えている」肯定的な回答

生徒 94% 保護者 92%、教員 96%

○「お子さんは体育祭等の学校行事を楽しみにしている」肯定的な回答 生徒 92%、保護者 88%、教員 100%

- ・本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者や地域の方に学校の様子を見ていただくことができず、学校だよりや学級通信、学校ホームページ等でしか伝える事ができなかった。そんな状況の中でも、生徒は限られた環境の中でできる最高の行事をつくろうと努力し、充実した取り組みができたことを、事後の感想などに多くの生徒が示していた。困難な状況をマイナスに捉えるのではなく、前を向いてポジティブに考え、行動できた生徒に心から敬意を表したい。次年度もこの経験を生かし、いつまでも心に残る感動的な行事を実践していきたい。